



市内各地に戻ってきた活気や賑わい!

■市民の協力に感謝!

新型コロナウイルス感染症につきましては、先月8日に、感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同等の5類感染症に移行されました。

新型コロナウイルス感染症は、この3年間で災害級ともいえる状況をもたらし、人々の生活意識や行動に多大な影響を及ぼしました。

本市では、国や県と連携し、市民の命や生活を守ることを最優先に、新型コロナウイルス感染症に係る対策を実施してきました。

議員の皆様におかれましては、本市がさまざまな対策を推進するにあたり、御支援、御協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

また、この間、市民や事業者の皆様には、外出自粛をはじめとした行動制限や、感染防止対策など、度重なる呼びかけに大変お疲れさまでした。

市民の皆様一人ひとりの御協力のおかげで、この未曾有の難局に対してここまで立ち向かうことができたと考えております。

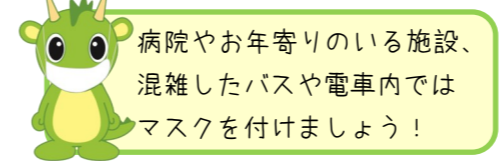
そして、先の見えない闘いの最前線にあっても、勇気ある、不断の努力により、多くの人々の命を救っていただいた医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様にも、この場をお借りして感謝申し上げます。

■引き続き感染防止対策を進める

5類感染症への移行は、ポストコロナに向けた大きな一歩であると認識しておりますが、新型コロナウイルス感染症自体がなくなったわけではありません。

日常において、私たち一人ひとりが、今後も感染対策を意識し、実行していく必要があります。

基本的な感染対策は、新型コロナウイルス感染症のみならず、感染症全般の予防のための有効な対策であることから、今後も皆様に可能な範囲での御協力をお願いするとともに、本市といたしましても、引き続き、国や県と連携し、状況に応じた感染防止対策を適切に進めてまいります。



■3回目のさいたま市民の日

さて、5月1日に本市は、3回目となる「さいたま市民の日」*1を迎えました。

今年の5月1日は月曜日と、制定後初めて「平日」にあたり、全ての市立学校は休みになりました。学校の休業に合わせて、児童・生徒をはじめ多くの方に本市の歴史や文化に触れていただくため、当日には大宮盆栽美術館や岩槻人形博物館をはじめ市内19施設の観覧料や使用料を無料にしたほか、通常月曜日が休館となる図書館や博物館などの33施設は、休館日を変更し特別に開館しました。

また、市民の日前後の期間である4月から5月にかけては、「大宮盆栽ウィーク」や「ばらまつり」、「浦和うなぎまつり」など、本市の魅力や地域の特性を活かしたさまざまな企画や催しが実施され、家族連れや友人同士など多くの方に御来場いただき、市内各地で活気や賑わいが戻ってきたことを実感いたしました。

今後も、夏祭りをはじめ市内各地でさまざまなイベントが開催されますので、市内外から多くの方に御参加いただき、更なる賑わいで市全体が盛り上がることを楽しみにしております。

■サッカーの街さいたまの躍進

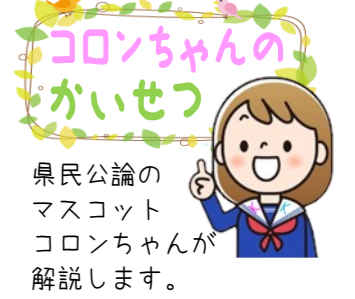
次に、先日閉幕しました「AFCチャンピオンズリーグ2022」*2において、浦和レッズが2017年以来となる、大会史上最多3度目のアジア制覇を成し遂げました。

決勝第2戦の舞台となった、埼玉スタジアム2002では、スタンドを真っ赤に埋め尽くした多くのファンやサポーターから送られる熱い声援と、選手たちの気迫あふれるプレーが一つになり、見事勝利の栄冠を掴み取りました。

アジアチャンピオンに輝いた浦和レッズは、12月にサウジアラビアで開催される「FIFAクラブワールドカップ2023」に出場します。

クラブ世界一を決める舞台においても熱い戦いを繰り広げていただき、「サッカーのまちさいたま」の名が世界に轟くような躍進を期待しております。

(令和5年6月7日 さいたま市議会本会議場)



*1「さいたま市民の日」= さいたま市の歴史や文化に親しんで頂き、市民の皆さんと一緒に、魅力あるさいたま市を将来にわたって創っていくことを決意する日として、令和3年にむかえた市誕生20周年を契機に、さいたま市が誕生した5月1日を「さいたま市民の日」として制定。

*2「AFCチャンピオンズリーグ2022」= AFCとはAsian Football Confederation(アジアサッカー連盟)の略称です。2002年に初めて開催されてから、毎年行われています。アジア各国からリーグ上位のチームが1~4チームずつ出場します。日本では、ACL本戦の出場権がJリーグの年間順位1、2位のチームと天皇杯優勝チームに、予選プレーオフからの出場権が年間順位3位のチームに与えられます。ACLを優勝したチームには、アジアのクラブチーム代表としてFIFA(国際サッカー連盟)ワールドカップの出場権が得られます。



給食費無償化

Q【北岡久住】 さいたま市の子育て政策について、国や他自治体よりも先んじて学校給食の無償化を実施するよう求める。

A【副教育長】 本市では、他の政令指定都市では例を見ない、小・中学校全校の完全自校給食化を実現。「子育て世代に選ばれる自治体」であり続けられるようにする。「こども未来戦略方針」の素案において、学校給食の無償化実現に向けて、実態調査を行った後、課題を整理し、具体的な方策を検討する方針が示されている。自治体の財政負担に配慮されるよう国に要望する。



埼玉県内市初 坂戸市が学校給食費の無償化→



大宮行き新幹線

Q【吉田一郎】 大宮行新幹線について、定期化の要望と課題。

大宮駅を終着とする新幹線による荷物輸送の試験運転を定期化するようJRに対し要望すべき。大宮駅を終着とする場合の課題は。

A【都市局長】 大宮駅を始発とする新幹線の復活については、JRに要望してきたが、今後は、輸送トライアルの定期化や、定期化した輸送便をそのまま折り返して始発とすることも含め、大宮駅を発着する新幹線の運行について要望する。

JRからの課題については「今後、実用化に向けて課題の抽出を行うためにも、トライアルを継続的に実施する」と伺っている。



外国ルーツ子ども支援

Q【出雲圭子】 放課後児童クラブ入室中の方で外国籍の児童や保護者がいる。クラブでは児童とのやりとりや保護者対応に苦勞し、情報提供や緊急時の連絡について困難が想定されている。具体的な支援について検討しているか。

A【子ども未来局長】 放課後児童クラブでは、外国語を話すことができる職員による対応や、学校との連携による対応のほか、翻訳アプリの活用や、別の保護者や児童が間に入ってコミュニケーションを取って対応している。さらに「さいたま観光国際協会」や地域ボランティア団体を紹介、通訳サービスを実施している国際交流センター等の支援機関を案内するなど適切に対応する。

本会議場スクリーンの活用で視覚に訴える議論を!

平成22(2010)年にさいたま市議会本会議場に、代表・一般質問時に関連資料を投影するスクリーンが設置されましたが、多くの質問でこれが有効に活用されていないというのが現状です。

6月議会では質問した21議員中、スクリーンを使用したのは9議員のみでした。インターネット議会で議事を傍聴している市民に向けても、この資料が放送されるので、質問内容が視覚的に確認されます。

質問時のみならず、答弁時の資料提示・各種報告事項・市長あいさつでもスクリーンを活用するよう、議員と執行部両者の創意工夫に期待します。「スクリーンの持ち腐れ」とならないように。(臣)



県民公論社は、さいたま市と共に、市民満足度の向上とSDGsの達成に向けて取り組む「CS・SDGsパートナーズ共同宣言」を締結。本紙はSDGs推進の環境適正印刷方式で作成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 県民公論 電子版

男性HPVワクチン接種

Q【佐伯加寿美】 スクリーン使用 男性へのHPVワクチン接種について、さいたま市で独自助成を行う予定はあるか。

A【保健衛生局長】 国において、男性に対するHPVワクチンの接種を定期予防接種として位置付けること是非を検討するため、男性を含めたHPV関連がんの基本的知見や費用対効果など、ワクチンの評価・検討に必要となる情報を整理することとされている。男性のHPVワクチンの接種費用に関して、独自の助成制度を導入する自治体があるが、本市としては、国の動向を注視する。

山形県南陽市の取り組み→

マイナ保険証への移行

Q【佐藤征治郎】 スクリーン使用 マイナンバー保険証利用登録申請が不可能な高齢者等が無資格者とならないようにすべき。

A【福祉局長】 マイナンバーカードと健康保険証の一体化については、令和6年秋の保険証廃止に向けて、利便性の高いマイナンバーカードに切り替えをお願いしている。

国の方針では、マイナンバーカードをお持ちでない方には、保険証の代わりとなる資格確認書の申請を案内し、申請がない場合は、職権で交付するなど、必要な対応を行う予定。

本市では、今後示される国の通知などにに基づき、丁寧にわかりやすく説明し、誰ひとり取り残される方がいないように取り組む。

マイナンバーカード活用

Q【尾上貴明】 スクリーン使用 マイナンバーカード情報を活用した「スマート窓口(書かない・行かない・待たない)」設置による市民サービス向上と本市の導入スケジュール。

A【都市戦略本部長】 マイナンバーカードを活用することにより、住所・氏名・生年月日などの情報を把握し、来庁者の申請書を書く手間や待ち時間、さらに手続き漏れを防止し、誰にもわかりやすく、「書かない」や「待たない」窓口を検討している。

今年度はモデルとなる区役所を設定し、令和7年度末を目途に「実証実験」を行っていく。

深谷市での「スマート窓口」実例→

令和5年6月定例会代表・一般質問

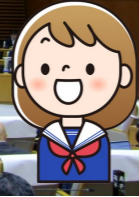
議長：江原大輔 副議長：神坂達成

代表質問＝議会内で政党や思想信条が同じ議員の集まりである「会派」を代表して、市政全般について質問すること。

一般質問＝議員の調査・研究・地域活動等から見出された各種の市政問題点を提起する、議員の見識と実力が問われる質問。

- 本紙では質問の一部を抜粋しています。
- 会派名は質問時の名称です。

- 「立憲」＝立憲民主・無所属の会さいたま市議団
- 「さい自民」＝さいたま市議会自由民主党議員団
- 「自民市議」＝自由民主党さいたま市議会議員団
- 「みらい」＝無所属みらい



MaaSの導入

Q【代表質問】本市の目指す理想のMaaS(マース)の姿と、導入に向けたスケジュールについて。*MaaS＝各種交通機関を、スマホを使ってひとつの移動サービスにまとめる。

A【市長】現在、スマートシティー(デジタル技術を駆使して便利で快適な生活ができる街)の取り組みの一環として生活者の視点で移動の利便性向上や地域経済の活性化を図るライフサポート型MaaSの構築を推進している。スケジュールについては、MaaSの早期の実装と段階的なレベルアップを目指し、関係事業者との協議・調整を積極的に実施する。



MaaSについて→



自転車ヘルメット購入補助

Q【代表質問:スクリーン使用】自転車乗車時のヘルメット着用の努力義務化により、自転車まちづくりを推進しているさいたま市として、自転車用ヘルメットの購入補助を実施すべき。

A【日野副市長】埼玉県内において、自転車事故で死亡した人の約7割が頭部に致命傷を負っている。ヘルメットの着用が、交通事故による被害を軽減するために有効であると、本市においても認識しているため、ヘルメット着用の努力義務化を周知し、着用の必要性を啓発する。ヘルメットの購入補助については、他都市の状況等も参考にし、引き続き調査・研究する。



市長等の海外出張

Q【代表質問】市長はじめ市職員が海外出張をする機会も増えると思うが、公費節減の観点から、旅費制度に関わる部分での取り組みはあるか。

A【日野副市長】市長等特別職をはじめ職員の旅費制度に係る公費節減の取組としては、公費出張で航空機を利用した際に航空会社が提供するマイルージ、いわゆる公用マイルージの活用を検討している。今後、マイルージを無料航空料金と交換することにより公費節減が見込める職員を対象に、公用マイルージの活用を開始する予定。

さいたま市の海外姉妹・友好都市→



スクラップヤード規制

Q【代表質問】スクラップヤードの規制について、説明会開催義務など効果に疑問が多い条例ではなく、騒音・振動を抜本的に解決するための条例制定を決断すべき時と考える。

A【小川副市長】現在、条例制定に向けて、周辺住民の相談内容や、すでに条例を制定している千葉市や袖ヶ浦市などの先行自治体を参考に検討を進めている。条例については、相談窓口の義務付け、住宅等から事業場敷地境界まで一定の距離を確保する等の措置を入れる方向で検討。本年12月本会議への上程を目指す。

千葉市再生資源物の屋外保管に関する条例→



大宮・美園間地下鉄設置

Q【代表質問】東西交通大宮ルートは新都心を経由して大宮に向かう地下鉄が理想であり、核都市広域幹線道路と合わせて整備することが大宮・新都心の機能向上につながる。

A【小川副市長】議員から提案の地下鉄は、輸送力や速達性、耐震性など様々な面で優れていると認識する。導入する交通システムについては、地下鉄7号線の延伸の動向も踏まえ、沿線エリアの開発・土地利用等の将来の動向などを整理し、費用対効果や収支採算性、地域への影響、運営主体などを総合的に勘案し、実現性の高い適切な交通システムを選定してまいりたいと考えている。



アニマルウェルフェア

Q【代表質問:スクリーン使用】アニマルウェルフェア(動物福祉)について、と畜場での作業員における人道的な家畜の取り扱い、係留所から最後の場所への移動の際、作業員がやさしさを忘れず、最後の瞬間に苦しみがないようにすべき。

A【小川副市長】さいたま市食肉中央卸売市場・と畜場での、アニマルウェルフェアの配慮では、家畜が、と畜されるまでの係留所には、空調設備・水を飲める設備を備えている。人道的な家畜の取り扱いについては、日本食肉生産技術センターの家畜取扱マニュアルを踏まえて丁寧に扱うよう指導。



アニマルウェルフェアとは→



在宅避難の周知徹底

Q【佐藤真実】災害時の在宅避難について、市民への周知が足りていない。さいたま市において、防災講座のインターネット動画配信を行う予定はあるか。

A【総務局長】本市では、在宅避難について、市報やホームページ、災害ガイドブックに掲載するとともに、出前講座や防災講座を活用して周知を行っている。防災講座のインターネット動画配信の予定はないが、より多くの市民の方に在宅避難をはじめ、防災に関する情報を知っていただくことは重要と考える。今後については、現行の周知方法に加え、インターネットでの動画配信や、SNS等の活用による周知を検討する。



ハレノテラス交差点

Q【中山欽哉】見沼区東大宮地区のハレノテラス交差点をスクランブル化できないか。

A【都市局長】スクランブル化については、市としても、交差点内を安全に横断できる対策が必要不可欠と考えるので、交通管理者に要望及び協議する。

Q 同交差点に右折レーンを設置できないか。
A 同交差点については、令和4年12月に右折車の滞留が多い交差点の対応策として堀崎深作線の青信号のサイクルを長くし、右折できる車両を増やし、滞留する車両を減少させている。今後、直線と右折車両明確にするため、破線の路面標示を設置するとともに、右折車線及び右折信号の設置に向け協議する。



拉致問題、領土問題

Q【帆足和之】拉致問題と領土問題に対する教育委員会の認識について。

A【教育長】拉致問題について、特別な経験がない教師でも、子どもたちの心を揺さぶる授業ができるような学習指導案を作成。本年度は、この指導案を活用した研究授業を小学校長会人権教育委員会と連携して行う。領土問題では、「さいたま市版『我が国の領土に関する学習』ガイドライン」を作成、領土学習の充実を図っている。未来を生き抜く子どもたちには、国土と歴史に対する愛情や我が国の将来を担う国民としての自覚、平和で民主的な国家と社会の形成者としての資質と能力を育む。



水辺の活用

Q【大貫田鶴子:スクリーン使用】荒川第二調節池利活用に向けては、アーバンスポーツやドッグランなどの整備が望ましい。

A【都市局長】現在、国・県・市で構成する「荒川第二・第三調節池利活用行政連絡会議」について検討を進めている。同会議で意見交換を行う中で、アーバンスポーツ施設やドッグランの整備も含めた空間の利活用について検討。今後、公民連携による魅力的で賑わいあふれる水と緑のオープンスペースの形成を目指す。

アーバンスポーツ→



教員の処遇改善

Q【秋山朋彦】なかなか進まない教員の処遇改善を改めて推進していくという教育長の覚悟と意気込みを伺う。

A【教育長】私は、国が教員の処遇改善に対して大鉈を振ることに期待している。それ以上に大切なことは、教育という営みに対するリスペクトを取り戻すことであると考えている。この国にとって、教育が大切な大切な営みであるということをもう一度思い出していくことが、今、教育が抱えている様々な課題を解決するためのエンジンになると思う。私は、教師が自信を取り戻すために、これからも教育という営みの大切さを訴えてまいる意気込みである。



未来と希望のまちプラン

Q【中山淳一】さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちづくりプランにある「市民」とは。

A【都市戦略本部長】総合振興計画に定義はないが「市民」はさいたま市に居住する者を指し、取り組みによっては、市内在勤・市内在学のものも含む。

Q このプランにある「協働・連携」の言葉の意味、定義は。
A 「協働」は「市民協働」のことを想定。市民と行政が、対等な立場から地域や社会における共通の課題を解決すること。「連携」は「公民連携」を想定。行政が民間事業者の知識や技術を活用し、公共サービスを継続的に実施する手法のこと。

総合振興計画→



調公園じゃぶじゃぶ池

Q【池田めぐみ:スクリーン使用】調(つきのみや)公園(浦和区岸町、調神社隣接)の「じゃぶじゃぶ池」と、「平和の灯」の改善について。

A【都市局長】「じゃぶじゃぶ池」は平成20年に水環境施設の大規模故障が起こり、老朽化が進んで多額の復旧費用を擁することになり休止した。「平和の灯」を囲む修景池については、市民からの要望もあり、平成29年に安全・衛生面の理由から水を張ることを中止した。今後は、地元関係者や「平和の灯」所管の総務局と調整を図りながら、修繕費用等を勘案し、十分調査して検討する。

調公園(浦和シティネットより)→



新川の地域交流整備

Q【金井康博:スクリーン使用】新川の整備済み区間の管理用通路脇やのり面に桜を植樹し、水面に近づける場所や親しみ憩える遊歩道を整備すべきと考える。

A【建設局長】管理用通路脇やのり面などに桜の植樹は難しいものと考えているが、河川改修に伴い、生じた旧河道用地などの活用を検討する。議員指摘のとおり、河川区域は貴重な空間であると認識する。今後、市民の方々が水辺に近づけるような河川構造や、河川改修に伴い生じた旧河道用地などにベンチなどを設置するなど、居心地がよく、歩きたくなるような空間づくりに向け検討する。



レッズランドにレッズ地名

Q【川村準】クラブワールドカップで浦和レッズが世界一になったらレッズランドにレッズの地名をつけないのか。

A【スポーツ文化局長】議員提案のレッズランドの所在地にレッズという地名をつけることについては、地域への誇りや愛着が生まれるという観点もあるが、一方で、現在の地名に含まれる歴史や、地名に対する地域の方々への想いなどにも配慮する必要がある。さらに、地権者や、新旧の地名に関係する様々な方々との合意形成が必要になるので、地名の変更については慎重に検討する。

レッズランド→



令和5年6月さいたま市議会代表&一般質問特集

注目質問・答弁抜粋・要約(文責)

本紙) *詳しくはQRコードでご参照